

第41回

医師会祭

今年で41回目を迎えた医師会祭りが、
11月9日土曜日に行われました。



今年の医師会祭りは約70名の方々にお集まりいただきました。今年の食事は懐石料理
青山様より豪華なバイキングを提供していただき、ご満足いただけたかと思います。



出し物は、昨年に引き続きご出演頂いたモノマネ芸人・プロミュージシャンによる出し物で観客を巻き込んだ演目で素晴らしい盛り上がりぶりに。



そして今年も行った大抽選会では、大人・子ども共に喜んでいただけるよう、景品の内容を豪華にし、お持ち帰りいただきました。



来年も医師会会員の皆様ご家族様またスタッフの皆様にご満足が頂けるよう頑張ってお参ります。

田園調布医師会 福祉厚生部 神田良介

東京国際空港 航空機事故対処総合訓練



令和7年10月23日(木)に、羽田空港にて航空機事故を想定した対処訓練が行われました。この訓練には大田区三医師会含む、41機関から1,014名が参加。本訓練では飛行中エンジントラブルにより東京国際空港B滑走路に着陸後、第1エンジンから火災が発生し、負傷者が多数発生しているとの想定の下行われました。当会からは医師5名、看護師2名、事務4名が参加し、PGA(passenger gathering area)において無傷者、軽症者の対応、処置を行いました。PGAの設置場所への誘導がなく、本部との連絡も不十分であったため混乱を生じることがありました。予定の訓練は完遂できたものの、多くの課題が噴出した訓練であったため今後の改善が必要と考えさせられました。ご参加頂いた先生方、ご協力ありがとうございました。

(事務局)



東急病院前 緊急医療救護所訓練



令和7年11月8日に東急病院駐車場内にて、田園調布医師会・大田区柔道整復師会・大田区薬剤師会・東急病院・大田区健康医療政策課担当者・地域災害ボランティアが参加し、緊急医療救護所設置訓練を行いました。当医師会からは医師3名、看護師3名、事務1名が参加し、トリアージエリア、軽症者処置エリアを担当しました。今回は東急病院前での訓練が久しぶりであったこともあり、病院内の導線の確認や調整の重点を置いて行われ、傷病者の誘導や搬送、病院本部との無線連絡に多少問題がありましたが滞りなく訓練を実施致しました。



東調布第一小学校前 軽症者救護所開設訓練



令和7年12月6日(土)に、東調布第一小学校にて軽症者救護所開設訓練が行われました。同訓練には大田区・大田区薬剤師会・災害時医療職ボランティア・田園調布高校が参加。

- 救護所の開設
- テント・椅子・机・簡易ベッド等の設置を含めた全体レイアウト
- 避難者、傷病者の動線
- トリアージエリアでの傷病者への対応
- 緑エリア（軽症者）への処置
- 重症者の搬送調整

以上についての確認が行われました。ご参加頂いた先生方、ありがとうございました。



荏原病院・田園調布中央病院前 軽症者救護所合同開設訓練



令和8年3月14日(土)午後2時より、田園調布医師会、大田区柔道整復師会、大田区薬剤師会、田園調布中央病院・大田区健康医療政策課担当者が参加し、田園調布中央病院前緊急医療救護所設置訓練が行われました。当医師会ではトリアージエリア、軽症者処置エリアを担当しました。

昨年と同様に災害拠点病院である荏原病院と災害時の連携を目的に、2病院同時開催となりましたが、各病院で傷病者の誘導や搬送、病院本部との無線連絡、病院本部・トリアージエリアの運営方法に課題が残りました。訓練の内容をより良くするためにも、出来るだけ多くの先生方にご参加頂き、ご意見いただければ幸いです。

田園調布医師会 医療安全部 桑原 大輔





令和7年度 田園調布医師会忘年会

12月6日(土) 午後7時より開催されました。

今年は東京マリオットホテルにて、来賓の先生方含む、33名のもと開催されました。内山会長の開会挨拶、荻原顧問の乾杯にて宴が開始されました。その後は佐々木病院 吉田一明先生より御挨拶いただきました。

今年参加されなかった先生方、来年は是非ともご出席願います。午後9時すぎには森山副会長の閉会の辞で、お開きとなりました。

(総務 佐藤 良太郎)





鈴木 直人

当クリニックは田園調布中央病院の新築移転に伴い、関連施設として2025年8月1日に開院しました。院長に就任した鈴木直人と申します。1998年に昭和大学医学部卒業後、大学病院および関連病院で研鑽を積み、田園調布中央病院では20年間、消化器外科医として外科手術と内視鏡治療に従事してまいりました。

私の専門は大腸疾患であり、これまでは大腸癌手術が中心でしたが、今後はクリニックで早期発見に繋がる大腸内視鏡検査を普及させ、地域の大腸がんゼロを達成するのが私の目標です。内視鏡を通して、その患者さん、その家族、その地域に輪を広げていき、地域の健康に貢献していきたいと考えております。

地域に愛されるクリニックを目指して職員一同、邁進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



山田 哲也

2026年2月2日東急池上線御嶽山駅の近くにおんたけ耳鼻咽喉科を開業しました山田哲也と申します。

2004年に昭和医科大学を卒業後、東京医科大学で初期研修、耳鼻咽喉科勤務医を通して、小児耳鼻咽喉科(小児難聴や発達障碍の耳鼻咽喉科診療など)を中心にめまい、音声、漢方など学んできました。その後、昭和医科大学病院SCPT外来や墨田区のクリニックで雇われ院長を経験しました。

その間に雪谷青色申告会会長をはじめ雪谷税務署長、町内会長、商店街会長や将棋教室を開いているプロ棋士の友人、パパ友ママ友などの種々のご縁があり、この地に貢献していければとの思いから今回の独立を決意しました。”人與人”や医療連携のみならず、病気と病気、地域と人、人と病気など全てのつながりを大切にしていきたいと思っています。まだまだ右も左もわからないところが多く、皆様からのご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



8月

20